

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ プレミア・プラス・ファンド」は、2024年11月20日に第20期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none">投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。債券、株式、資源資産3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。実質外貨建資産については、実質的に為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主要運用対象	インベスコ プレミア・ プラス・ファンド	「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」および「インベスコ マネーボール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」を主要投資対象とします。
	インベスコ バランスト・リスク・ アロケーション マザーファンド	別に定める投資信託証券*への投資を通じて、日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに実質的に投資します。 *別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンドクラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）です。
	インベスコ マネーボール・ファンド （適格機関投資家私募投信）	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">投資信託証券（マザーファンド受益証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。デリバティブ取引の直接利用は行いません。	
分配方針	原則として年2回の毎決算時（5・11月の各20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



インベスコ プレミア・プラス・ファンド

愛称：真分散革命

追加型投信／内外／資産複合



運用報告書（全体版）

第20期
（決算日 2024年11月20日）

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落		投資信託 組入比率	純資産 総額	
		税金 分	み 金			騰 落
	円		円	%	百万円	
16期(2022年11月21日)	10,794		0	△8.1	99.1	3,377
17期(2023年5月22日)	10,378		0	△3.9	100.0	3,199
18期(2023年11月20日)	10,102		0	△2.7	97.3	2,726
19期(2024年5月20日)	10,636		0	5.3	99.4	2,424
20期(2024年11月20日)	10,304		0	△3.1	99.6	2,148

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 当ファンドは債券、株式、資源資産(コモディティ)を実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率		投資信託 組入比率
		騰	落	
(期首) 2024年5月20日	円 10,636		% -	99.4
5月末	10,500		△1.3	97.6
6月末	10,492		△1.4	98.5
7月末	10,427		△2.0	98.4
8月末	10,559		△0.7	98.6
9月末	10,738		1.0	99.6
10月末	10,472		△1.5	100.5
(期末) 2024年11月20日	円 10,304		△3.1	99.6

(注) 基準価額は1万円当たりです。

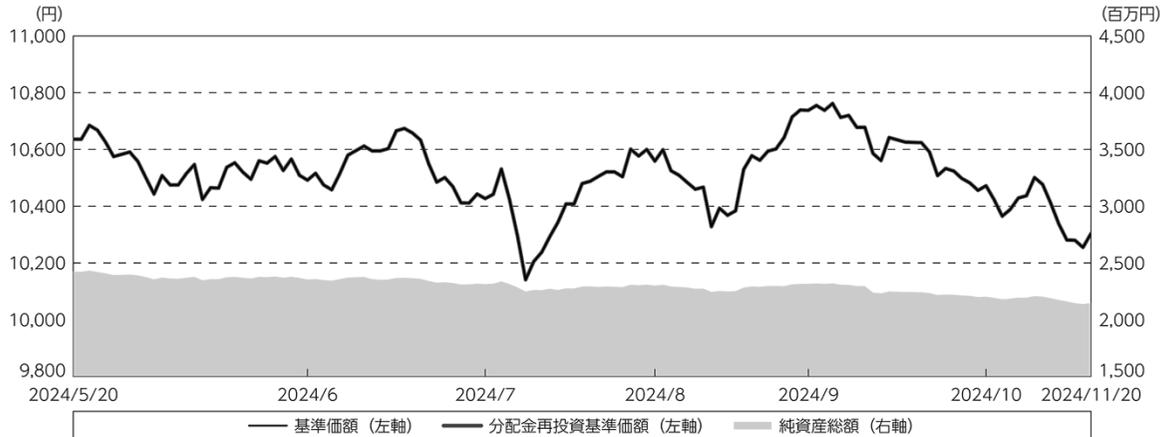
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年5月21日～2024年11月20日)



期首：10,636円

期末：10,304円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 3.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

[上昇要因]

- 日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産(コモディティ)を実質的な投資対象としているため、米国の株式市場や、ドイツ債券、貴金属や農産物などのコモディティの価格上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- 市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、米国の株式市場が上昇する中で、期を通じて資産配分を多め(オーバーウェイト)としたことや、エネルギー価格が下落する環境下で、2024年9月以降に資産配分を少なめ(アンダーウェイト)としたことが、基準価額の上昇要因となりました。

〔下落要因〕

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティを実質的な投資対象としているため、日本や英国の株式市場、英国の長期金利の上昇（債券価格は下落）や、工業金属やエネルギーなどのコモディティの価格下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、日本の株式が下落する中で、期を通じてオーバーウェイトとしたことや、貴金属の価格が上昇する環境下で、期を通じてアンダーウェイトとしたことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

＜債券市場＞

米国30年国債利回り	4.60% (前期末 4.59%)	英国10年国債利回り	4.47% (同 4.17%)
ドイツ10年国債利回り	2.35% (同 2.53%)	日本10年国債利回り	1.08% (同 0.98%)

※上記は当期末の数値です。

当期の世界の債券市場は、国によって長期金利の推移が異なる展開となりました。米連邦公開市場委員会（FOMC）で2024年9月に大幅な利下げが実施されたことで一時金利が低下（債券価格は上昇）したものの、その後の米国大統領選挙でトランプ氏が当選し、インフレを伴う政策が意識されたことで、米国の国債利回りは上昇しました。一方で欧州中央銀行（ECB）が利下げを継続したことで、ドイツの国債利回りは低下しました。

＜株式市場＞

S&P500 指数（米国）	+11.5%	FTSE100 指数（英国）	△4.0%
DAX 指数（ドイツ）	+1.3%	CAC40 指数（フランス）	△12.2%
TOPIX（東証株価指数）（日本）	△2.5%		

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は、国によって異なる推移となりました。FOMCで利下げが実施されたことや米国景気が堅調なことに加え、米国の半導体大手の決算内容が市場予想を上回ったことを受け、米国の株価は上昇しました。一方で中国における消費の低迷などから欧州の輸出関連企業の株価が軟調となり、フランスの株価が下落しました。

＜資源資産市場＞

エネルギー（WTI原油）	△5.8%	工業金属（銅）	△17.1%
貴金属（金）	+9.1%	農産物（RICI）	+2.4%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的なETCの価格を用いて計算しています。

当期の資源資産市場は、エネルギーが下落し、工業金属は大きく下落、貴金属と農産物が上昇しました。エネルギーは、石油輸出機構（OPEC）が、中国の原油需要の伸びが減少するとの見通

しを明らかにしたことや、2024年の世界の原油需要見通しを2ヵ月連続で下方修正したことなどを背景に、原油価格は下落しました。工業金属は、中国が追加の大規模な景気刺激策の導入を見送ったため、銅需要が減少するとの懸念が広がったことなどをを受け、銅価格は大きく下落しました。農産物は、ブラジルの干ばつによりコーヒー価格が高騰していることや、砂糖や豚肉の先物価格が高値で推移していることなどを背景に、上昇しました。貴金属は、米連邦準備理事会（FRB）が4年半ぶりに利下げを行ったことや、中国が大幅な景気刺激策と利下げを発表したことなどを背景に、金価格は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

インベスコ バランスド・リスク・アロケーション マザーファンド（以下、マザーファンドといます。）を高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンを獲得をめざしました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドといます。）を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスド・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行いました。債券、株式への投資は当該資産への直接投資や上場投資信託証券（以下、「ETF」といいます。）への投資の他、デリバティブ取引を活用しました。また、資源資産への投資はETF、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用しました。

市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して各資産クラスにてロング・ポジションを形成するとともに、短期的な市場変化に機動的に対応するため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

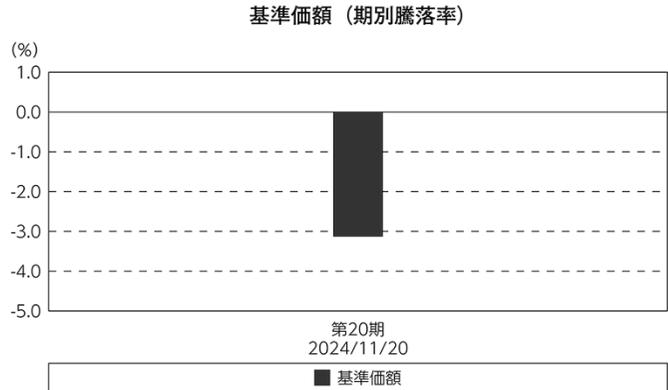
- ・株式は、日本と米国はオーバーウェイトを維持し、欧州と英国は2024年10月までオーバーウェイト、11月以降はややアンダーウェイトとしました。
- ・債券は、カナダ、ドイツ、豪州、英国は5月から7月までアンダーウェイト、その後8月から10月までオーバーウェイトとし、11月以降はアンダーウェイト、日本は5月から7月までアンダーウェイト、その後8月以降はオーバーウェイトを維持しました。米国は5月から8月までアンダーウェイト、その後9月から10月はオーバーウェイト、11月以降は再びアンダーウェイトとしました。
- ・資源資産は、エネルギーは8月までオーバーウェイト、その後アンダーウェイト、工業金属は期初から7月までオーバーウェイト、その後8月から9月にアンダーウェイト、10月以降はオーバーウェイト、貴金属と農産物はアンダーウェイトを維持しました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第20期
	2024年5月21日～ 2024年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,790

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産に実質的に投資し、さまざまな経済局面において安定したリターンの獲得をめざします。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、ETF、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 5 月 21 日～2024年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	50	0.477	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(5)	(0.044)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(44)	(0.416)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.055	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(4)	(0.038)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
合 計	56	0.532	
期中の平均基準価額は、10,531円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

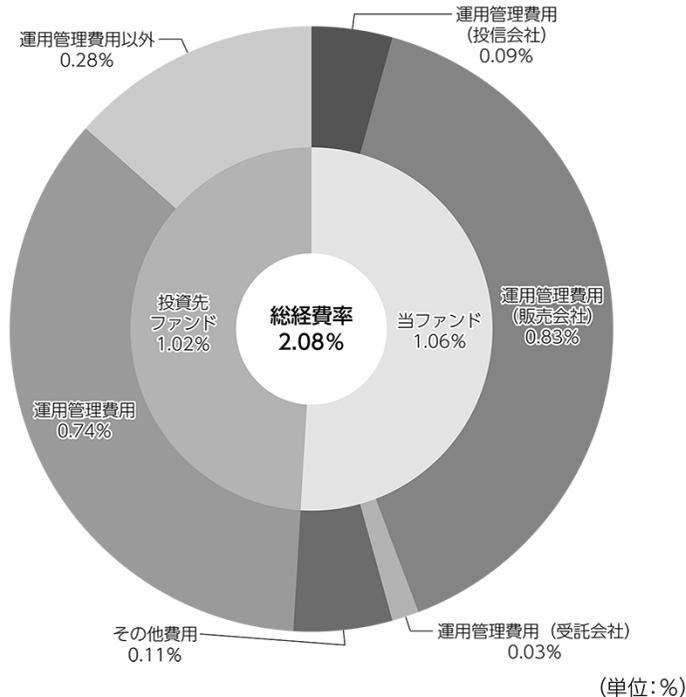
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



総経費率(①+②+③)	2.08
①当ファンドの費用の比率	1.06
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、親投資信託を通じて当ファンドが組み入れている投資信託証券および当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年5月21日～2024年11月20日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	インベスコ マネーボール・ファンド(適格機関投資家私募投信)	千口 19,649	千円 19,500	千口 -	千円 -

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	千口 21,591	千円 25,139	千口 231,335	千円 268,978

(注) 単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2024年5月21日～2024年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年11月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
	インベスコ マネーボール・ファンド(適格機関投資家私募投信)	千口 1,499	千口 21,148	千円 20,987	% 1.0
合計		1,499	21,148	20,987	1.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	2,080,324	1,870,580	2,139,383

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 20,987	% 1.0
インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド	2,139,383	98.2
コール・ローン等、その他	18,122	0.8
投資信託財産総額	2,178,492	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,178,492,041
投資信託受益証券(評価額)	20,987,905
インベスコ パランス・リストラ・アロケーション マザーファンド(評価額)	2,139,383,075
未収入金	18,121,061
(B) 負債	30,397,259
未払解約金	18,144,654
未払信託報酬	10,976,398
その他未払費用	1,276,207
(C) 純資産総額(A - B)	2,148,094,782
元本	2,084,759,719
次期繰越損益金	63,335,063
(D) 受益権総口数	2,084,759,719口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,304円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,279,526,695円
期中追加設定元本額	23,868,252円
期中一部解約元本額	218,635,228円

○損益の状況 (2024年5月21日～2024年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5
受取利息	5
(B) 有価証券売買損益	△ 56,800,114
売買益	2,482,594
売買損	△ 59,282,708
(C) 信託報酬等	△ 12,252,605
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 69,052,714
(E) 前期繰越損益金	△ 186,590,142
(F) 追加信託差損益金	318,977,919
(配当等相当額)	(410,464,763)
(売買損益相当額)	(△ 91,486,844)
(G) 計(D + E + F)	63,335,063
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	63,335,063
追加信託差損益金	318,977,919
(配当等相当額)	(410,464,773)
(売買損益相当額)	(△ 91,486,854)
分配準備積立金	171,272,590
繰越損益金	△ 426,915,446

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(410,464,773円)および分配準備積立金(171,272,590円)より分配対象収益は581,737,363円(1万口当たり2,790円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。

運用報告書

第10期

決算日 2024年11月20日

(計算期間：2023年11月21日から2024年11月20日まで)

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、別に定める投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティに投資します。なお、別に定める投資信託証券においては、債券、株式への投資は、当該資産への直接投資の他、先物取引、オプション取引などのデリバティブ取引を活用します。また、コモディティへの投資は、上場投資証券、指数連動債などへの投資の他、デリバティブ取引を活用します。 ・別に定める投資信託証券への投資を通じて、債券、株式、コモディティ3資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合は、原則として、高位に保ちます。 ・別に定める投資信託証券において、その運用方針として対円で為替ヘッジを行うことを掲げている場合は、原則として為替ヘッジを行いません。別に定める投資信託証券において、為替変動の影響を受ける実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。 ・投資対象とする投資信託証券は、委託者の判断により変更することがあります。
主要運用対象	<p>別に定める投資信託証券※</p> <p>※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランススト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘッジ付）です。</p>
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引の直接利用は行いません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率		
	円		%	%	百万円
6期(2020年11月20日)	12,023		4.4	97.0	1,762
7期(2021年11月22日)	13,848		15.2	97.4	3,034
8期(2022年11月21日)	11,736		△15.3	98.5	3,393
9期(2023年11月20日)	11,098		△ 5.4	96.7	2,742
10期(2024年11月20日)	11,437		3.1	99.0	2,139

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドは債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象とし、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮した資産配分を行うため、適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 券 率 組 入 比
		騰 落 率	率	
(期 首) 2023年11月20日	円		%	%
	11,098		—	96.7
11月末	11,206		1.0	97.7
12月末	11,479		3.4	99.5
2024年1月末	11,388		2.6	99.2
2月末	11,470		3.4	98.5
3月末	11,753		5.9	98.5
4月末	11,561		4.2	98.3
5月末	11,596		4.5	97.5
6月末	11,597		4.5	98.0
7月末	11,535		3.9	98.2
8月末	11,692		5.4	98.2
9月末	11,902		7.2	99.2
10月末	11,618		4.7	100.0
(期 末) 2024年11月20日	11,437		3.1	99.0

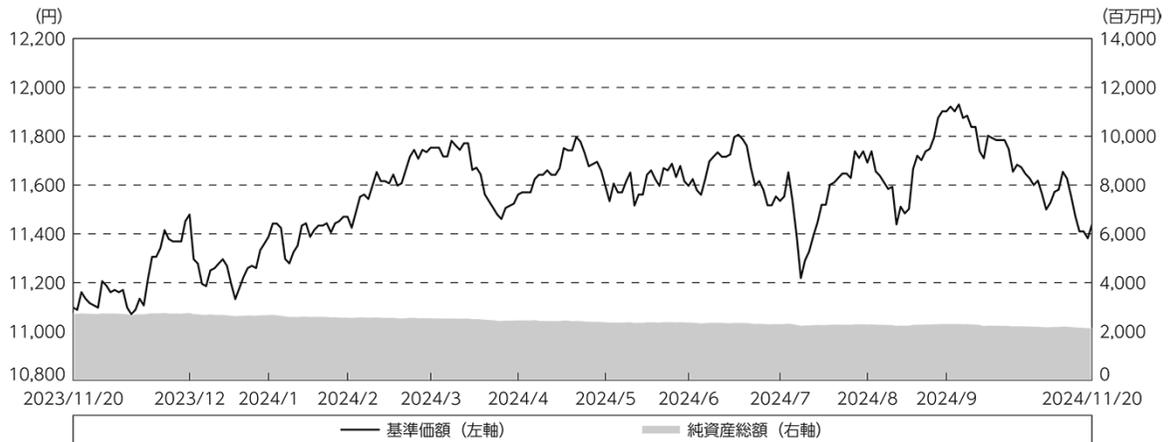
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年11月21日～2024年11月20日)



期首：11,098円
 期末：11,437円
 騰落率： 3.1%

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、資源資産（コモディティ）を実質的な投資対象としているため、米国や日本の株式市場の上昇や、ドイツ債券、貴金属や農産物などのコモディティの価格上昇が、基準価額の上昇要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、株式市場が上昇する環境下で、期を通じて株式の資産配分を多め（オーバーウェイト）としたことや、エネルギー価格が下落する環境下で、2024年9月以降に資産配分を少なめ（アンダーウェイト）としたことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・日本を含む世界各国の債券、株式、コモディティを実質的な投資対象としているため、英国や日本の長期金利の上昇（債券価格は下落）や、エネルギーなどのコモディティの価格下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して債券、株式、コモディティの配分を決定した結果、貴金属の価格が上昇する環境下で、期を通じてアンダーウェイトとしたことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

《債券市場》

米国30年国債利回り	4.60% (前期末 4.57%)	英国10年国債利回り	4.47% (同 4.13%)
ドイツ10年国債利回り	2.35% (同 2.61%)	日本10年国債利回り	1.08% (同 0.75%)

※上記は当期末の数値です。

当期の世界の債券市場は、国によって長期金利の推移が異なる展開となりました。米連邦公開市場委員会（FOMC）で2024年9月に大幅な利下げが実施されたことで一時金利が低下（債券価格は上昇）したものの、その後の米国大統領選挙でトランプ氏が当選し、インフレを伴う政策が意識されたことで、米国の国債利回りは上昇しました。一方で欧州中央銀行（ECB）が利下げを継続したことで、ドイツの国債利回りは低下しました。

《株式市場》

S&P500指数（米国）	+30.1%	FTSE100指数（英国）	+7.9%
DAX指数（ドイツ）	+19.5%	CAC40指数（フランス）	△0.7%
TOPIX（東証株価指数）（日本）	+13.7%		

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。

当期の世界の株式市場は、米国、ドイツ、日本などを中心に上昇しました。FOMCで利下げが実施されたことや米国景気が堅調なことに加え、米国の半導体大手の決算内容が市場予想を上回ったことを受け、米国の株価は上昇しました。一方で中国における消費の低迷などから欧州の一部輸出関連企業の株価が軟調となり、フランスの株価が下落しました。

《資源資産市場》

エネルギー（WTI原油）	前期末比△0.4%	工業金属（銅）	+11.3%
貴金属（金）	+34.1%	農産物（RICI）	+12.0%

※騰落率は当期末時点（対前期末比）の数値です。代表的なETCの価格を用いて計算しています。

当期の資源資産市場は、エネルギーが下落し、貴金属、農産物、工業金属が大きく上昇しました。エネルギーは、石油輸出機構（OPEC）が、中国の原油需要の伸びが減少するとの見通しを明らかにしたことや、2024年の世界の原油需要見通しを2ヵ月連続で下方修正したことなどを背景に、原油価格は下落しました。工業金属は、2024年9月に中国が不動産市場の支援策を発表したことや、人工知能（AI）や電気自動車などの新産業の銅需要がさらに拡大するとの見方が広がっていることなどを背景に、銅価格は上昇しました。農産物は、ブラジルの干ばつによりコーヒー価格が高騰していることや、豚肉の先物価格が高値で推移していることなどを背景に、上昇しました。貴金属は、米連邦準備理事会（FRB）が4年半ぶりに利下げを行ったことや、中国が大幅な景気刺激策と利下げを発表したことなどを背景に、金価格は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

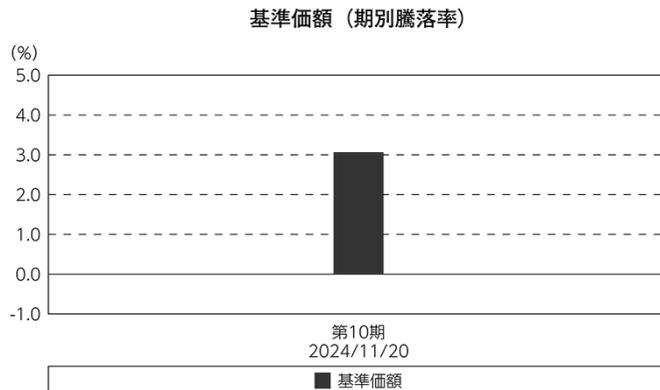
主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行いました。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の資産配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定しました。また、短期的な市場変化に機動的に対応した運用を行うため、独自のモデルによって、以下のような資産配分を行いました。

- ・株式は、日本はオーバーウェイトを維持し、欧州と英国は2024年10月までオーバーウェイト、11月以降はややアンダーウェイト、米国は5月、新興国は2月に一時アンダーウェイトとしましたが、その後再びオーバーウェイトとしました。
- ・債券は、カナダ、ドイツ、英国は期初から2023年12月までアンダーウェイト、その後2024年1月にオーバーウェイトとしたものの、2月から7月までアンダーウェイト、その後8月から10月までオーバーウェイトとし、11月以降はアンダーウェイト、豪州は期初から2023年12月までアンダーウェイト、その後2024年1月と2月にオーバーウェイトとしたものの、3月から7月までアンダーウェイト、その後8月から10月までオーバーウェイト、日本は期初から4月までオーバーウェイト、5月から7月までアンダーウェイト、その後8月以降はオーバーウェイトを維持しました。米国は期初から8月までアンダーウェイト、その後9月から10月はオーバーウェイト、11月以降は再びアンダーウェイトとしました。
- ・資源資産は、エネルギーは8月までオーバーウェイト、その後アンダーウェイト、工業金属は期初から4月までアンダーウェイト、その後5月から7月にオーバーウェイト、8月と9月にアンダーウェイトとしたものの、10月以降はオーバーウェイト、貴金属と農産物はアンダーウェイトを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、当期の基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation投資信託証券(円ヘッジ付)に投資を行います。同外国投資信託では、債券、株式、資源資産の配分については、市場環境や価格変動の大きさなどを考慮して決定します。また、短期的な市場変化に機動的に対応した資産配分も行います。前記の方針に基づき、毎月月初時点での投資判断をもとにリバランスを行いながら、今後も規律あるプロセスに従った運用を行っていきます。なお、株式、債券、コモディティ上場投資証券、コモディティ指数連動債などへの投資に加え、デリバティブ取引を活用します。

○当ファンドのデータ

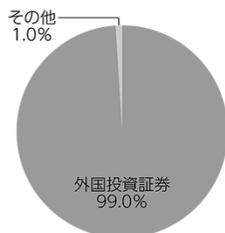
(2024年11月20日現在)

【組入上位ファンド】

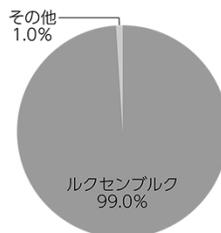
銘柄名	第10期末
インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	% 99.0
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

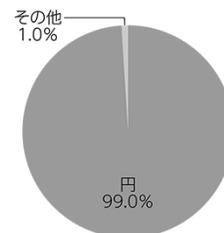
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年11月21日～2024年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、11,566円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2023年11月21日～2024年11月20日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	千口 —	千円 —	千口 493	千円 620,000

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

○ 利害関係人との取引状況等

(2023年11月21日～2024年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年11月20日現在)

国内投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千口	千円	%
インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド クラスC-Accumulation	2,197	1,704	2,118,136	99.0
合 計	口 数 ・ 金 額	1,704	2,118,136	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	< 99.0% >	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成

(2024年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	2,118,136	98.2
コール・ローン等、その他	39,397	1.8
投資信託財産総額	2,157,533	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,157,533,209	
コール・ローン等	39,396,777	
投資証券(評価額)	2,118,136,314	
未収利息	118	
(B) 負債	18,121,061	
未払解約金	18,121,061	
(C) 純資産総額(A-B)	2,139,412,148	
元本	1,870,580,638	
次期繰越損益金	268,831,510	
(D) 受益権総口数	1,870,580,638口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,437円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	2,470,775,340円
期中追加設定元本額	50,537,216円
期中一部解約元本額	650,731,918円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ プレミア・プラス・ファンド	1,870,580,638円
合計	1,870,580,638円

○損益の状況 (2023年11月21日～2024年11月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 1,478	
受取利息	10,363	
支払利息	△ 11,841	
(B) 有価証券売買損益	87,647,249	
売買益	87,647,249	
(C) 保管費用等	△ 631	
(D) 当期損益金(A+B+C)	87,645,140	
(E) 前期繰越損益金	271,365,915	
(F) 追加信託差損益金	7,575,028	
(G) 解約差損益金	△ 97,754,573	
(H) 計(D+E+F+G)	268,831,510	
次期繰越損益金(H)	268,831,510	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(参考情報)

ルクセンブルグ籍外国投資法人 インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド

「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」が主要投資対象として
いる「インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンド」の直近の情報は以下の通
りです。

当ファンドは、「インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド」が投資
対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人が発行するクラスC-Accumulation投資信託証券（円ヘ
ッジ付）です。

○ファンドの仕組み

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人
投 資 対 象	債券、株式、コモディティの3資産に投資します。
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な金融市場と低中相関で、中長期的にトータル・リターンを得ることを目標とします。 ・ 3資産への投資に当たっては、景気減速期、経済成長期、インフレ期といった経済環境において異なる値動きをする資産間で、戦略的配分および戦術的配分を行います。 ・ 原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
管 理 会 社	インベスコ・マネジメント・エス・エイ
投資顧問会社	インベスコ・アドバイザーズ・インク
決 算 日	毎年2月末
分 配 方 針	分配は行いません。

インベスコ・バランスト・リスク・アロケーション・ファンドは、現地の法律に基づいて財務諸表が作成され、公認会計士により財務書類の監査を受けております。以下に掲載している情報は、2024年2月29日現在のFINANCIAL STATEMENTSから抜粋しております。

○損益計算書及び純資産額変動計算書

(2024年2月29日に終了した年度)

(単位：ユーロ)

収益	
受取利息（債券）	8,045,860
マーケットディスカウントの増価／（マーケットプレミアムの償却）	20,780,377
預金利息	5,223,950
スワップに係る純受取利息	325,446
証券貸付利息	234,920
その他収益	129,522
	<u>34,740,075</u>
費用	
運用及び投資顧問会社報酬	13,640,742
サービス代行報酬	2,652,291
保管報酬	129,637
税金	535,752
事務代行費用	182,358
スワップに係る支払純利息	16,234,423
その他運営費用	12,338
運営費用上限超過額	(2,758)
その他支払利息	44,975
	<u>33,429,758</u>
当期投資純利益／（損失）	<u>1,310,317</u>
支払及び未払分配金	(9,222)
受益証券発行／（買戻）による純収益／（支払）金	(371,136,378)
投資有価証券、デリバティブ及び外国通貨の処分に係る実現純利益／（損失）	4,457,610
為替先物予約に係る未実現評価益／損の純変動額	(4,268,676)
先物契約に係る未実現評価益／損の純変動額	27,983,282
コモディティ・スワップに係る未実現評価益／損の純変動額	(1,659,735)
トータル・リターン・スワップに係る未実現評価益／損の純変動額	11,366,539
オプション／スワップションに係る未実現評価益／損の純変動額	(6,391,993)
投資有価証券に係る未実現評価益／損の純変動額	4,856,591
外国通貨及びその他取引に係る未実現評価益／損の純変動額	62,184
期首純資産額	<u>1,486,240,977</u>
期末純資産額	<u>1,152,811,496</u>

○投資有価証券明細表

				(2024年2月29日現在)	
銘柄	額面/株数	時価 (ユーロ)	純資産に占める 割合 (%)		
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券					
債券					
カナダ					
Royal Bank of Canada/Toronto 0% USD 05/04/2024	31,500,000	28,549,616	2.48		
ドイツ					
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 1.5% EUR 15/05/2024	50,000,000	49,765,000	4.32		
German Treasury Bill 0% EUR 20/03/2024	95,000,000	94,842,300	8.23		
German Treasury Bill 0% EUR 17/04/2024	80,000,000	79,637,600	6.91		
German Treasury Bill 0% EUR 19/06/2024	90,000,000	89,019,450	7.72		
German Treasury Bill 0% EUR 17/07/2024	36,000,000	35,505,720	3.08		
German Treasury Bill 0% EUR 21/08/2024	50,000,000	49,155,000	4.26		
German Treasury Bill 0% EUR 18/09/2024	50,000,000	49,015,250	4.25		
German Treasury Bill 0% EUR 16/10/2024	80,000,000	78,228,800	6.79		
German Treasury Bill 0% EUR 20/11/2024	80,000,000	77,988,400	6.76		
		603,157,520	52.32		
オランダ					
Dutch Treasury Certificate 0% EUR 27/03/2024	30,000,000	29,928,084	2.59		
Dutch Treasury Certificate 0% EUR 29/04/2024	70,000,000	69,595,992	6.04		
Dutch Treasury Certificate 0% EUR 30/05/2024	30,000,000	29,731,776	2.58		
		129,255,852	11.21		
債券合計		760,962,988	66.01		
証券					
アイルランド					
Invesco Physical Gold ETC	179,000	32,360,739	2.80		
証券合計		32,360,739	2.80		
公的な証券取引所に上場を認められているまたは他の 規制市場で取引されている譲渡性のある有価証券合計		793,323,727	68.81		
2010年12月17日の集団投資事業に関する法律 第41条1Hに規定される短期金融商品					
Societe Generale SA (Call account) 0% EUR	126,000,000	126,000,000	10.93		
2010年12月17日の集団投資事業に関する法律 第41条1Hに規定される短期金融商品合計		126,000,000	10.93		

インベスコ バランスト・リスク・アロケーション マザーファンド

銘柄	額面／株数	時価 (ユーロ)	純資産に占める 割合 (%)
オープン・エンド型投資信託			
アイルランド			
Invesco Liquidity Funds plc - Invesco Euro Liquidity Portfolio	103,236,985	104,767,474	9.09
オープン・エンド型投資信託合計		104,767,474	9.09
投資有価証券合計		1,024,091,201	88.83

利率は、2024年2月29日現在のものです。

(参考情報)

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

○ファンドの仕組み

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。
主要運用対象	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
組入制限	・株式への投資は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資は行いません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（11月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

○組入資産の明細

(2024年11月20日現在)

2024年11月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

○損益の状況

(2023年11月21日～2024年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,761
受取利息	5,457
支払利息	△ 696
(B) 有価証券売買損益	198
売買益	198
(C) 信託報酬等	△ 4,084
(D) 当期損益金(A+B+C)	875
(E) 前期繰越損益金	△ 16,730
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 222,017 (△ 7,526)
(売買損益相当額)	(△ 214,491)
(G) 計(D+E+F)	△ 237,872
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 237,872
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 222,017 (△ 7,526)
(売買損益相当額)	(△ 214,491)
分配準備積立金	887
繰越損益金	△ 16,742

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
計算期間末における費用控除後の配当等収益(840円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および分配準備積立金(47円)より分配対象収益は887円(1万円当たり0.27円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。